

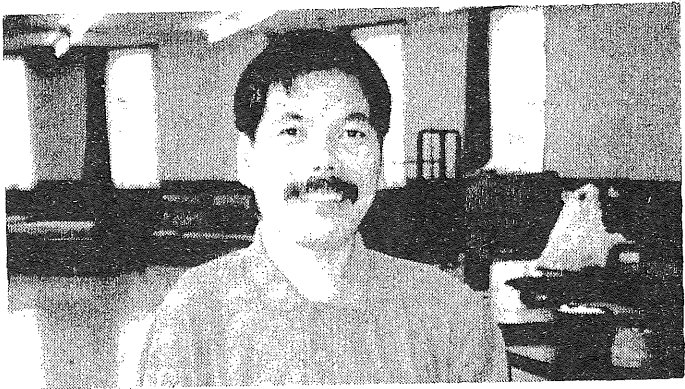
向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。



社会福祉法人イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL 075-621-3849
FAX 075-621-1579
発行 平田 義
編集 集 恵 大一郎

今号より新連載！！

「骨食い太郎とチヨロマツ」



連載 第1回

松下 かつとし

前号まで皆様にご好評を頂き、惜しまれつつ連載を終えました。車イス“吟遊詩人”柏木正行氏の長編スベクタクル『ぼくが調べた向島の歴史』に代わる、新たな連載が、今号より始まりませう。

その名も、「骨食い太郎とチヨロマツ」。これは、向島ニュータウン・十一街区在住の松下かつとしさんという方の三十年以上に渡る闘病生活を童話風にまとめたものであります。

骨食い太郎とは、「骨溶解性悪性血管腫」という世界でも十人程しか症例のない難病のことです。また、チヨロマツとは、いつもチヨロチヨロじつとしていない性分の松下さんです。このような難病でありながらも、常に前向きに人生を歩もうとする松下さんの生き様がひしひしと伝わってくる。そんな童話です。ぜひ、じっくりとお読みください。

ちよつと昔のことでした。あるところにチヨロマツという若者がおりました。チヨロマツは家の手伝いもせず、いつも遊びまわっておりました。

ある日のこと、チヨロマツが川で遊んでいるときに、左ひじにコブのようなものがポツコリとできていました。

「なんだ、これは」

しかし、そのときは、いたくもかゆくもなかつたので、チヨロマツは、気にもとめず、また、遊び続けました。

いく日かたつて、コブが急に痛みはじめました。

「あいたたた……」

そのとき、コブの中から声が出ました。

「おいらは骨食い太郎。骨食い族の長男。これからは、ここがおいらの住みかだ」

「いたくてたまらん。はやくオレの体から出てい

け

「もうおそいよ。おいらはおまえの体じゅうに、かくれがをつくつたのさ。おいだそうとしてもダメだ。おまえが死ぬまで、おいらはおまえの骨をしゃぶるんだ」

チヨロマツの親は心配して、あつちこつちの医者へチヨロマツをつれていきまし

「悪い病魔がとりついて、せがれの体じゅうの骨を食べるといふとるそうです。なんとか治してやってください。」

なんとか……

しかし、どこの医者も、判でおしたように同じこたえでした。

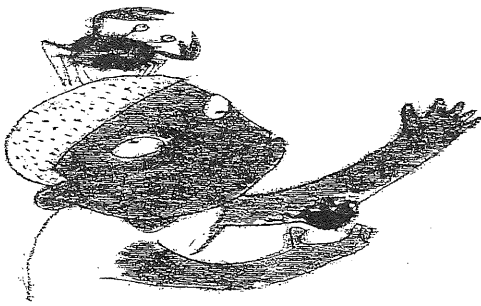
※ 次ページへ続く ※

「これは治しようのない病
気。いたみだめのクスリだつた
らつくつてあげられるんだ
が……」

「チヨロマツはすっかりおち
こんで、遊びにもいかず、寝
ついてしまいました。」

「クッククックッ。
なあ、チヨロマツよ、
おまえは病人なんだから、
じつと静かにしていなくち
やダメなんだぞ。
クッククックッ。
それにしてもおまえの骨は
うまいなあ。おいらの舌を
とるかすようだ」

次号へつづく……



デイサービス恒例！春のお花見

4月9日 伏見桃山城キャッスルランド

バスで行く！信楽への旅！！

デイサービスメンバー・「陶芸の森」でくつろぐ

去る四月九日(火)、デイサー
ビス恒例となりましたお花見
に行つてまいりました。場所
は知る人ぞ知る「伏見桃山
城キャッスルランド」です。
当日は絶好の花見日和に
恵まれ、四月上旬にもかかわ
らず汗ばむほど。到着するや
いなや五分咲きの桜の下へ陣
取り、予約しておいた「超豪
華・花見弁当」にさつそく舌
鼓を。めいめいの好みに合わ
せビールやお酒もちよつたり
頂き、夢見心地になつたところ
で、「桃山城に登ろう」の
コーナーにあいなりました。
なんせ、いつもの例に漏れ
ず、車イス数台をつらねての
こと、正面入り口前には石垣
を積み重ねたような大階段が

我々の行く手を阻みます。結
局裏口の「大道具入れ」のよ
うなところからエレベーター
を使つて入場いたしました。
中には、桃山城築城の経緯
や、豪華絢爛な調度品、安土
桃山時代の人々の暮らしぶり
等の展示(多分そうだったはず
が、よく覚えていない?)があ
り、我々の興味をそそりま
す。エレベーターの関係上、
天守閣には昇れずじまいでし
たが、楽しい一日を過ごすこ
とができました。
又、先日(六月四日)には、
信楽焼で有名な滋賀県信楽町
「陶芸の森」にお出かけた
しました。心配された雨の方
もなんとかもつてくれて、現
地では強い日差しに困るほど





でした。ここでも、予約しておいた一流レストランにて豪華お食事の囑託職員で、我々ティサイビスセンター陶芸教室の名譽講師ダモンテ師匠の案内により、登り窯・穴窯という昔ながらの薪窯を見学させて頂きました。普段我々の製作している陶芸作品は主に電気窯で焼いてくださるそうですが、このような薪窯では四日間ぶつとつとで焼き続けるそう、その間使う薪は、百束にも及ぶそうです。そのような大変な労苦を知り、皆、陶芸に対する姿勢というか、思いが少し変わったように「これから

は一つ一つ丁寧に作らなあかん」と気合いを入れ直す声で聞かれました。特に今まで下らないガラクタばかりを作っていた某職員は、反省しきりというところでしようか。その後、長い坂をヒーコラいいながら登り、新館蔵品展をのぞき、めいめいがお土産を吟味し、家路を急ぎました。少々お疲れ気味の方も見受けられましたが、概ね参加者は楽しそうに過ごしておられました。これからも、どんどん積極的に外へ出掛けていき、日頃の疲れた心身をリフレッシュすることになり、心がけたいと思います。

月曜学校改め

『ほしの子クラブ』へようこそ!

月曜 朝・10:00 ~ 11:00 入園前の子どもたち対象



月曜日の朝、お母さんに抱っこされたり、手をつないでもらったり、自転車に乗せてもらって、0才から入園前の子どもたちが、愛隣館研修センターに集ってきます。前年度までは、月曜学校(月曜日度まで)に歩んでいましたが、名付けて歩んできましたが、学校という感じがするのでは、ふ

さわしい名前を考えた結果、子ども讃美歌に♪ロケットに乗って地球を見たら、地球は青い星でしたって、するとみんなは星の国の子どもたち♪という歌詞から、地球がえのこの星に住む、かけがえのない大切な子どもたち、みんな平等で仲良くできたという願いをこめ、『ほしの子クラブ』と改めました。中身は今までどおりで、始めにみんなで一緒に讃美歌を歌ったり、紙芝居等を使ったお話を聞く礼拝をし、きれいなカードをもらって自分でカード帳のりづけします。生まれて初めてのりにさわる子どもも、いつしか上手に一人でできるようになつた時は、こちらまで嬉しくなります。その後、簡単な英語の歌を歌ったり、手遊びを楽しんでから、ねんどやお絵書き、折り紙やビニール袋等を使って工作をします。その時はお母さんたちもとても楽しそうに張り切つて製作したり、おしゃべりをして作ったり、良き情報交換の場になつていきます。又、時には、エアートランポリンで思いきり体を動かして遊びます。限られた場所、短い時間でもたちとの関わりが十分とは思いませんが、毎週楽しみに『ほしの子クラブ』へ通つてきてくれます。どの子も初めてこの集団への参加だと思ひます。このクラブで優しい心と平和を大切にできる人に、共に成長していったら良いなと思ひます。みなさんも一度、『ほしの子クラブ』をのぞきにきてください。きつと大好きになりませうよ……。

～ 夏期献金のお願い ～

これからの展開にそなえて

当センターが、この向島の地に誕生して、早17年が経とうとしています。今日まで、皆様方に支えられ、活動を続けることができたことを心より感謝します。

これまでも、「障害」を持つ方、お年寄りや子どもたちが、安心して暮らせる“場”づくりを目指して、様々な活動に取り組んできました。そして、93年には、念願のエレベーター設置、身体「障害」者デイサービスの開設と具体的に事業も拡大してまいりました。

そしてこの度、皆様の多大なるご支援により、3階を増築させて頂くことができ、今年度より、身体「障害」者デイサービス・入浴

事業を始めることができました。この場を借りまして、改めてお礼申し上げます。

しかし、その際、銀行、社会福祉事業団より併せて4千万円余を借り入れております。デイサービス事業に關しましては京都市からの委託金で運営しておりますが、前述の借入金金の返済、また、今後の新たな事業の展開にむけ、資金的には非常に苦しいと言わざるをえません。

これまでも皆様方には多額の献金をして頂いているにも関わらず、新たなお願いをさせて頂くのは誠に恐縮ですが、上記のような状況をご理解頂き、ご協力お願いいたします。

よろしくお願ひいたします！

夏期献金 要項

◆目的

当センター3階の増築にかかる借入金の返済、および今後の事業展開に備え、地域福祉の向上に寄与するため。

◆夏期献金・目標額

3,000,000円
※口数、金額とも任意です。

◆送金方法 ※以下の口座をご利用ください

《郵便振替》

京都 01020-5-39321
口座名：社会福祉法人イヌ田 愛隣研センター

《銀行口座》

京都銀行 向島支店 普通：939378
口座名：愛隣研センター・2・3階増築募金 代表 平田 義



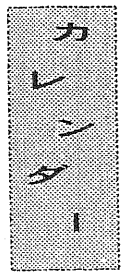
◇アジア国際夏期学校・オリエンテーション及び開校式
七月十三(出)～十四(日)、今年度「香港セミナー」事前学習会及び研修生壮行会他。詳細は事務局の方までお問い合わせください。

◇アジア国際夏期学校・香港セミナー
◇テーママ：「ホンコンは今」七月二四(日)～七月二七日(出)。※申し込みは五月の末日にて締め切っております。悪しからずご容赦ください。

◇土曜学校キャンプ
月一(内)二(出)の一泊二日。対象―土曜学校にきている小学一、二年生。場所―京都市百井キャンプ場。

◇日曜学校キャンプ
月十三(内)～十五日(日)の二泊三日。日曜学校にきている小学三年生以上、中学生、高校生。場所―京都市百井キャンプ場。

◇夏期休館日
八月十二日(月)より八月十七日(日)まで。十九日(月)より平常通り開館いたします。



お知らせ

* デイサービス・新スタッフ紹介 *

前号のセンターニュースで皆様方にお知らせいたしましたように、3階増築、身体「障害」者デイサービス・入浴事業開始に伴い、今年度より強力な二名のスタッフが当センターに加わりました。お一人目は、森口麻生さん。年令は三七歳で、ヒゲもじやの風貌は一見コワもてといつた感じですが、内実はとても優しいお兄さんです。主に入浴サービスの利用者の送迎車輛の運転を担当して頂きます。もう一人は、太田正茂さん。年令は二七才。学生時代は当センターに事務局を修くとして、インドネシアを単身訪問したり、教会学校のゲームアドバイザー、教員としてならしました。入浴利用者の利用状況の調整、相談事業等、いわば「入浴コーディネーター」としての役割を担って頂きます。どうぞ、皆様よろしくお願ひいたします。

編集後記

皆様！次号までお元気で！